

○ 本校の概要

- ★ 開校66周年目、児童数778名、24学級。地域からは落ち着いた学校として一定程度の評価を得ている。
- ★ 学級担任24名中、新規採用1名、教員全体の平均年齢は37.8歳で、20代30代の経験の浅い教員が6割超を占めており、校内において教師としての基礎・基本の徹底及び教師としての資質・能力の育成が課題である。
- ★ 「健康・安全・人権」を学校教育の基礎とし、「挨拶・運動・笑顔・思いやり」を大切に児童の育成を図る。
- ★ 本年度の校内研究は、昨年度に引き続き、「楽しい学校の創造～生活・総合の楽しい授業の創造～」をテーマとし、生活科・総合的な学習の時間での主体的な学びの実践を通して学びに向かう力の育成を図っていく。
- ★ 多様な人間関係を築く機会と場を確保するために、毎年、全学年学級編成替えを実施し、フランクlin・コピーン・ジャパン社との連携により「リーダー・イン・ミー」の考えを基に新しい自分の可能性を追求し、自尊感

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	コメント
プラン1 生1 きる 未来 供来 社会 育を 創造 的に	コミュニケーション能力、情報活用能力、ともに生きる力等、これからの社会の変化にしっかりと対応する子どもを身に付けます。	外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々のコミュニケーション能力の育成を図っている。 学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。 体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実施する。	4: 保護者向け学校評価アンケート 「学校は、生活や学習にふさわしい環境作りを努めている。」項目において、「はい」との回答56%以上 3: 保護者向け学校評価アンケート 「学校は、生活や学習にふさわしい環境作りを努めている。」項目において、「はい」との回答46%以上56%未満 2: 保護者向け学校評価アンケート 「学校は、生活や学習にふさわしい環境作りを努めている。」項目において、「はい」との回答36%以上46%未満 3: 保護者向け学校評価アンケート 「学校は、生活や学習にふさわしい環境作りを努めている。」項目において、「はい」との回答36%未満	4	○ 「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動に取り組むことは、児童数の割に場所が狭いことや天候に左右されることがあり、実践が難しくなった。 ◎ 年間計画に「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を位置づけ、実施する。	○ 「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動ではなく、学年単位で「一学年一取組一実践」を試みたいかがあてらる。 ○ 場所や天候に左右されない取り組みの模索もご検討ください。 ○ 先生方が熱心に取り組んでいただいている様子は、理解しています。 ○ ICT機器を上手に使っていると感じています。 ○ 昨今の子供たちは核家族化して、人間関係が難しいところがある。地域も協力して生きる力を子供と共有したい。引き続き子供にやさしい地域に協力をお願いします。
プラン2 学力の 向上	児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について、指導する。 算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。 学習指導講師等による算数・数学・英語の補習を実施する。 授業改善推進プランを、授業に生かす。 単元の見直しや毎時間の学習の具体的なめあてや授業の流れを子供に明示する。	4: 全児童対象学校生活に関するアンケート 「授業中、勉強がよく分かる」項目において、「はい」との回答53%以上 3: 全児童対象学校生活に関するアンケート 「授業中、勉強がよく分かる」項目において、「はい」との回答43%以上53%未満 2: 全児童対象学校生活に関するアンケート 「授業中、勉強がよく分かる」項目において、「はい」との回答33%以上43%未満 1: 全児童対象学校生活に関するアンケート 「授業中、勉強がよく分かる」項目において、「はい」との回答33%未満	3	○ 「学習カルテ」は「算数ステップ学習チェックシート」と比べ、活用頻度が少なかった。 ○ 学習指導講師を活用し、3年生以上の算数の補習を128日間、放課後に行った。さらに、2時間の補習教室を、年間6回行った。 ◎ 「学習カルテ」の使用頻度を上げ、児童の学習のつまずきや学習方法について指導する。 ◎ 教材研究の際に各教科の「授業改善推進プラン」を意識し、授業に生かす。	○ 学校図書館の活用が読書量の増加につながると思います。 ○ 学力の把握は低学年から継続的に実施し、早めの対応を取ることが大切だと思います。 ○ 先生方の業務の多さが気になるが、子供たちに対する気遣いが見える。小学生の時に不得意科目をつくらないように願っています。 ○ 補習教室の話は聞いています。児童が学習の手段として使うことは望ましいことです。 ○ 補習教室などでの先生方の「ガンバリ」は、ありがたいことだと思います。 ○ 成果が楽しみです。 ○ 定着までの過程であり、早期の定着の達成を期待します。
プラン3 豊かな 心の 育成	子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成するなど、未来への希望に満ちた豊かな心をはぐくみます。	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。 道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。 学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。 学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。 問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。 「リーダーインミー」の授業の実施と全教育活動における指導において、児童が主体的に行動できる素地を身につけさせる。	4: 保護者向け学校評価アンケート 「学校は、子供一人一人を大切に指導を行っている」項目において、「はい」との回答46%以上 3: 保護者向け学校評価アンケート 「学校は、子供一人一人を大切に指導を行っている」項目において、「はい」との回答36%以上46%未満 2: 保護者向け学校評価アンケート 「学校は、子供一人一人を大切に指導を行っている」項目において、「はい」との回答26%以上36%未満 1: 保護者向け学校評価アンケート 「学校は、子供一人一人を大切に指導を行っている」項目において、「はい」との回答26%未満	4	○ 6月と10月の「子どものころサポート月間」には、1～3年生は学校独自の、4～6年生は大田区のアンケート調査を実施した。また、5・6年生は毎月学校独自のアンケート調査を実施し、担任と面談を行っている。いじめの未然防止に役立った。 ◎ 時期や期間にはとらわれず、必要と思われる児童や保護者には、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用を図る。	○ 登校時、複数の教職員の方が挨拶に立っているのは、いいことだと思います。授業以外の声かけは子供にとって嬉しいと思います。 ○ 活発な児童や挨拶ができる礼儀正しい児童が多く、リーダーインミーを通じて主体性を発揮できる児童が増え、リーダーインミーが浸透しつつあると感じることが見られた。 ○ 児童一人一人に対して大切に目配りしていることを認識しました。 ○ 「いじめ」や「不登校問題」は、なかなか大変な事案だと思います。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの力を大いに活用し、多くの方の目や力に対応していかれるとよいと思います。 ○ いじめの問題に正面から向かい合っていると。 ○ 児童に対する目配りはされていると思う。 ○ 地域も連携して未然防止に協力していきたい。 ○ 規範意識は低学年より育成することが大事かと思っています。
プラン4 増進 の 向上 と 健康 の	スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします。	「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。 給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらいとした「食育」を推進する。 体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。	4: 保護者向け学校評価アンケート 「学校は、体育指導・給食指導・保健指導等で、健康教育・体力向上に努めている」項目において、「はい」との回答62%以上 3: 保護者向け学校評価アンケート 「学校は、体育指導・給食指導・保健指導等で、健康教育・体力向上に努めている」項目において、「はい」との回答52%以上62%未満 2: 保護者向け学校評価アンケート 「学校は、体育指導・給食指導・保健指導等で、健康教育・体力向上に努めている」項目において、「はい」との回答42%以上52%未満 1: 保護者向け学校評価アンケート 「学校は、体育指導・給食指導・保健指導等で、健康教育・体力向上に努めている」項目において、「はい」との回答42%未満	3	○ 「早寝・早起き・朝ごはん」月間や「体育・健康教育地区公開講座」等により、児童・保護者への啓発ができた。 ◎ 校内研究の教科を「体育」と定めて具体的な主題を設定し、研究推進委員会の教員が中心となって、児童の体力向上への意欲を高めるために授業の改善を図る。	○ スポーツ・体力面で少し弱いと聞いています。がんばってほしい。 ○ 今の子供たちは家に帰っても外で遊びまわること少ない状態です。体力向上の問題は、学校だけの問題ではなく、家庭の考え方も必要だと思います。 ○ 体力向上には食育が大事であり、体力なくして授業には集中できない。給食も含め、引き続き食べることの大切さの指導をお願いします。 ○ マラソン大会やなわとび大会など、無理のない範囲で継続的に実施することも大事かと思っています。 ○ 多くの児童は給食がおいしいと言っているそうです。学校の取り組みの「食育」は、評価に値すると思います。人気のリクエストメニューもとても良いアイデアだと思います。
プラン5 魅力 ある 教育 環境 づくり	児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境をつくりまします。	授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。 授業改善セミナー等の研修成果を生かし、主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を実施しOJTを充実させる。 各種研究発表会等の研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。 校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。	4: 保護者向け学校評価アンケート 「子供は、分かりやすい授業・楽しい授業を受けている。」項目において、「はい」との回答59%以上 3: 保護者向け学校評価アンケート 「子供は、分かりやすい授業・楽しい授業を受けている。」項目において、「はい」との回答49%以上59%未満 2: 保護者向け学校評価アンケート 「子供は、分かりやすい授業・楽しい授業を受けている。」項目において、「はい」との回答39%以上49%未満 1: 保護者向け学校評価アンケート 「子供は、分かりやすい授業・楽しい授業を受けている。」項目において、「はい」との回答39%未満	4	○ 若手教員の自主的研修会「わかめの会」を組織し、主任教諭が指導助言を行ったが、どうしても勤務時間外となった。 ◎ 日常的に授業公開を行い、互いに授業を見合うことで、自分から授業力を高めようとする雰囲気醸成する。	○ 学校公開日等に廊下の掲示物を見て、きめ細かさを感じています。 ○ 働き方改革のなか、児童を指導することは大変だと思うが、引き続き児童に対しての目配りをお願いしたい。 ○ 若い先生が多い中、いろいろとアイデアを出し合い、頑張っておられるようです。これを長所として生かした活躍を期待しています。 ○ いろいろな場面で若手の先生も頑張っている様子が見えますが、ベテランの先生方の声の大きさに負けている感じがします。若手の先生ももっと自信をもって活動してほしいです。若手の元気が学校全体の元気につながると思います。 ○ 先生方は研修等に頑張っていると思う。
プラン6 な って も に 家 庭 め 地 域 育 が 一 体 と	学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作ります。	教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。 地域教育連絡協議会において、児童・生徒の変容等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けるよう努める。 学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実施する。 PTA並びにおやじの会等との連携を深め、地域の教育力を生かした多様な体験活動を実施する。	4: 保護者向け学校評価アンケート 「学校は、家庭や地域と連携を図って、教育活動の充実を図っている」項目において、「はい」との回答56%以上 3: 保護者向け学校評価アンケート 「学校は、家庭や地域と連携を図って、教育活動の充実を図っている」項目において、「はい」との回答46%以上56%未満 2: 保護者向け学校評価アンケート 「学校は、家庭や地域と連携を図って、教育活動の充実を図っている」項目において、「はい」との回答36%以上46%未満 1: 保護者向け学校評価アンケート 「学校は、家庭や地域と連携を図って、教育活動の充実を図っている」項目において、「はい」との回答36%未満	4	○ 夏季休業期間の「わくわくスクール」では学校支援地域本部と連携し、講座を開講することができた。PTAやおやじの会主催の行事では、若手教員が多く参加したが、全教員の参加とまでは至っていない。 ◎ 夏季休業期間の「わくわくスクール」で、おやじの会と連携し、お父さんの進路について講座を複数開設し、キャリア教育を推進する。	○ 学校は、地域に開かれていると思う。 ○ 学校は、PTAや地域との連携が取れている。今後も引き続き継続してほしい。 ○ 学校・地域だけではなく、保護者の方たちも関心を高めて頂けたら。 ○ 地域行事において、教職員の方の参加が多く見られました。先生方の顔を見ると、子供たちは嬉しそうです。大変かと思いますが、地域行事への参加をよろしく願いいたします。 ○ 「おやじの会」も盛んなようです。頼もしいですね。先生方も参加できる方が出て頂ければ上等だと思います。かえって全員参加は先生方の負担になり、申し訳ないと思います。 ○ 寛大な校長先生のお陰で、PTAと連携した各イベントは大成功でした。各イベントを通じてボランティア精神の多い親御さんが多く見られますが、全体的に見ても、行事に積極的に参加される家庭が多いと思います。

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。